



↑雄大な中にも気迫が満ちていて思わずたじろいでしまいます



↑体は小さくても蹴りの威力は抜群!

夢は空手の先生。
大好きな空手を
たくさんの人に教えたい



チャレンジing

げんきびと
なすしおばら元氣人

切れのある技を繰り出す空手少女

No.22

一步踏み出す人を
応援するまち

練習は、その場で「突き」や「蹴り」をする基本稽古、場所を移動しないからです。

私が優勝したのは型の部です。私は空手の型が大好きです。技がびしっと決まると、とてもかっこいいからです。

この大会には、「組手の部」と「型の部」があります。組手の部は、相手と技を掛け合って勝負します。型の部は、「突き」や「蹴り」などの決まった動きの中で気迫や力強さ、美しさなどを競います。

全日本空手道選手権大会には、1年生の頃から出場しています。2年連続で優勝できたので、いろいろな人から「今回も優勝してね」と言われていました。プレッシャーもあったけれど、私も優勝したいと思っていました。だから、また優勝できたときはとてもうれしかったです。

10月31日、国立代々木競技場第二体育館で行われた全日本空手道選手権大会。全国の予選を勝ち抜いた強者が集まるこの大会で、小学3・4年生の型の部の頂点に立った田中亜子さんに話を伺いました。



たなか あこ
田中亜子さん

～プロフィール～

大山小学校に通う3年生。1年生のときから出場している全日本空手道選手権大会で3年連続優勝を果たしている。空手を始めたのは4歳のとき。兄の通う道場で体験をしたところ、空手の魅力に引き込まれてしまったという。普段は笑顔のかわいい女の子。好きな教科は体育で、好きな給食は揚げパン（ココア味）。

問い合わせ

〇函スポーツ振興課

0287(3)8749

